

YMCA 大阪青年

10



「みんなちがって、みんないい」

— 50年、35年の歩みから、これからの未来へ —

YMCA 松尾台こども園50周年、そして、YMCA しろがねこども園35周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

私は1999年4月、松尾台幼稚園の副園長から園長を務め、その後、しろがね幼稚園の園長も兼務し、約10年間YMCA幼稚園で勤務いたしました。振り返れば、多くの子どもたち、保護者の皆さま、職員、地域の方々との出会いに支えられながら歩んだ日々は、今も大切な思い出として心に残っています。

園長として多くの子どもたちと過ごす中で、ある誕生日会の時に、金子みすゞさんの詩を紹介したことがありました。その中の「私と小鳥と鈴と」という詩にある、「みんなちがって、みんないい。」という言葉は、今も私自身の心の支えとなっています。

人は、ともすると「できる・できない」「得意・不得意」といった物差しで自分や他者を比べてしまいます。しかし、この詩は、一人ひとりの違いには優劣があるのではなく、それぞれの存在そのものに価値があることを、優しく教えてくれます。また、この言葉が広く知られるきっかけとなったのは、1995年の阪神・淡

路大震災でした。その復興を願って放送されたテレビCMを通して、「みんなちがって、みんないい」という言葉は、多くの人の心に届きました。困難な時だからこそ、互いの違いを認め、支え合うことの大切さを伝えてくれた言葉だったのだと思います。

そして、この言葉は、YMCAが大切にしてきたキリスト教保育の精神とも深く響き合います。聖書のイザヤ書41章10節には、「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる」とあります。神さまが一人ひとりと共にいてくださる。その確信があるからこそ、私たちもまた、一人ひとりの存在を大切にし、違いを認め、互いに寄り添うことができるのではないのでしょうか。

子どもたちは、遊び、自然に触れ、友だちと関わり、時には失敗したり、思い通りにならない経験をしたりしながら成長します。その一つひとつの経験が、心と身体を豊かにし、自分とは違う人を知り、相手の立場を考える力につながっていきます。

今、子どもたちを取り巻く社会には、子どもの貧困や孤立、子育て家庭の孤立、環境問題など、さまざまな課題があります。だからこそ、

これからのYMCAには、子どもたちの成長を支えるだけでなく、地域の中で人と人がつながる「居場所」としての役割が、ますます求められているように思います。

子ども食堂や学習支援、子育て家庭への温かな見守り、気軽に相談できる場づくりなど、地域全体で親子の孤立を防ぎ、誰もが安心して暮らせる社会をつくる。そのために必要なのは、必ずしも大きな取り組みだけではありません。身近な人に声をかけること、困っている人に寄り添うこと、子どもの小さな変化に気づくこと、自然や環境を大切にすること。その小さな一歩が、やがて大きな支え合いの輪になるのだと思います。

50周年、35周年という節目を、これまでの歩みに感謝するとともに、未来への新たな出発点としていただきたいと思います。

「みんなちがって、みんないい。」

この言葉を胸に、子どもたちを真ん中に、家庭と園、地域、そしてYMCAに関わるすべての人がつながり、一人ひとりが大切にされる社会を、これからも共につくっていくことを願っています。

松尾台こども園、しろがねこども園のこれからの歩みが、子どもたちの未来を照らす希望の灯となりますことを、心よりお祈り申し上げます。



YMCA 松尾台・しろがね幼稚園
はら ひろし
元園長 原 寛

『私と小鳥と鈴と』

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面(じべた)を速くは走れない。

私がかからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

出典：金子みすゞ
『雨のあと』(春陽堂書店、2022年)

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

楽しむ力、考える力、支え合う力 「5歳児 雨の宿泊キャンプ」

大阪YMCA英語幼稚園

英語幼稚園の5歳児は、6月25日(木)・26日(金)、待ちに待った1泊2日の宿泊キャンプに、神戸市立自然の家へ出かけました。あいにくの雨となりましたが、子どもたちはいきいきと活動を楽しみました。

「雨でもキャンプは楽しい!」という子どもたちの言葉に、保育者も思わず笑顔に。水風船遊びやザリガニ釣り、キャンドルを囲んでの歌やゲーム、友だちと協力してのシチュエ作り。最後には、マシュマロとチョコレートをクラッカーで挟んで焼いた「スモア」を頬張り、たくさんの笑顔が生まれました。

何より印象的だったのは、「自分でやってみよう」とする子どもたちの姿です。荷物を整理し、着替えた服をたたみ、自分のことは自分でやる。困っている友だちには「大丈夫?」「一緒にやろう」と自然に声をかける姿も見られました。そこには、園生活の中で培ってきた自信や思いやり、仲間と支え合う力が表れていました。

キャンプでは、自然に触れ、予想外の出来事の中で自分で考え、友だちと協力しながら困難を乗り越える力を育みます。こうした

経験は、変化の多い社会を生きていくための大切な「生きる力」につながります。また、相手を思いやり、互いの違いを認め合う経験は、将来、多様な人と共に社会をつくっていくための大切な土台となります。

保護者の方からは、「雨で心配していましたが、『また行きたい!』と言っていて驚きました」と嬉しい声も届きました。天候に負けず、自分たちで楽しみを見つける子どもたちの姿に、成長を感じていただけたようです。

雨は最後まで止みませんでした。しかし子どもたちの笑顔は太陽のように輝いていました。この経験が、これからの一歩を踏み出す自信となり、周りの人を支える力へとつながっていくことを願っています。

大阪YMCA英語幼稚園
ヘッドティーチャー Aries Lucea



【ネイチャーポジティブ】自然を「守る」から「より良くする」へ

大阪YMCAウエルネス

8月8日(土)から12日(水)の期間で、中高生を対象とした「大阪YMCAネイチャーポジティブキャンプ2026」をYMCA阿南国際海洋センター(徳島県)で実施しました。「ネイチャーポジティブ」は、自然や生態系の損失を止め、回復させることで、自然をより良い状態にしていこうとする考え方です。気候変動対策における「カーボンニュートラル(脱炭素)」と並び、環境分野で急速に重要視されている概念です。単にこれ以上自然を破壊しないとする考え方(インパクトの最小化)にとどまらず、壊れた自然の再生から生物多様性を以前よりプラスの状態へ回復させるという姿勢が特徴です。

キャンプ活動では、生き物観察を数多く取り入れました。海に暮らすさまざまな生き物に目を向けながら、海と酸素のつながりについて学ぶことができました。海の生態系も酸素の生産に大きな役割を果たしていて、海草もその一つです。ウニが増えすぎると海草

を食べ、海草が減ることで、そこに暮らす生き物にも影響が及びます。一つの生き物の変化が、他の生き物や環境へとつながっていることを学びました。「海の生態系って面白い!」「どうしたら理想のバランスになるんやろー」と子どもたちが自然再生への興味を高めている姿が印象的でした。

環境に対する取り組みは、自分ごととして行動することは難しいものです。だからこそ、仲間と一緒に問いかけ、自然との関わりを体験の中で深めていくプロセスが大切になると強く感じています。

YMCAが大切にしてきた、自然の中で学び、仲間とともに考え、行動する体験。ネイチャーポジティブという視点を取り入れながら、子どもたちが自然とのつながりを感じ、自分たちの手で未来をより良くしていく力を育むキャンプを、これからもつづけていきたいと思っています。

北YMCA 事業長
並木 聡子



大阪YMCA学院 夏季集中コース報告 「勉強も体験も盛りだくさんでアツすぎる!!」

大阪YMCA学院

大阪YMCA学院(認定日本語教育機関)では、夏の短期プログラムとして「夏季集中コース」を実施しており、今年は7月27日(月)から8月7日(金)の2週間で、昨年度の2倍以上となる25名の学生が、アメリカ、カナダ、中国、韓国、台湾などから参加しました。

本プログラムでは、①授業で日本語を学ぶだけではなく、茶道、浴衣、たこ焼き作り、流しそうめん、昔あそびなどの日本文化体験や、カップヌードルミュージアム、NHK放送局、大阪くらしの今昔館などの文化施設訪問を通して、日本語と日本文化を楽しく学ぶこと、②大阪YMCAでの短期間の学びをきっかけとして、将来的な長期留学につなげることを目標として実施しました。



最終日の修了式では、参加者一人ひとりが一言スピーチを行い、「自分でたこ焼きを作れることに驚いた!」「先生たちのおかげで毎日が楽しかった」「日本語学習の意欲が湧いた」など、プログラムを通して感じたことや今後の目標を日本語で発表しました。2週間という短期間ではありましたが、彼らの日本語力の成長とともに、嬉しい言葉を聞くことができ、職員にとっても充実したプログラムとなりました。

言語を学ぶことは、単に言葉や文法を学ぶだけではなく、その言語が使われる国の文化や習慣、価値観を知ることも大切だと感じます。実際に日本文化を体験し、日本語を使う機会をつくることで、言葉への理解がより深まり、実践的な日本語の習得にもつながります。今回の夏季集中コースでの経験が、参加者25名にとって今後の日本語学習やそれぞれの進路につながり、日本と母国をつなぐ人材として活躍するきっかけとなることを期待しています。

大阪YMCA学院
スタッフ 藤原 瑠依

Welcome Home! 大阪YMCA ホームカミングデイ交流ブースへいらっしゃい!



「久しぶりにYMCAへ帰ってみようかな。」そんな気持ちになっていただけた一日をめざして、11月3日(火・祝)に開催される「第24回とさぼりファミリーカーニバル」に、大阪YMCAホームカミングデイ交流ブースを開設します。

YMCAで過ごした時間は、人それぞれです。キャンプやボランティア活動で汗を流した方、学校生活を送った方、職員として働いた方、ご家族とともにYMCAに親しんでくださった方。そのすべての方々が大阪YMCAの大切な仲間です。

当日は、思い出の缶バッジづくりや懐かしい写真・Yグッズの展示、寄せ書きコーナー、ホームカミング記念撮影、そして毎時00分の「チクサクコール&キャンプソング」など、懐かしさと新しい出会いが生まれる交流の場をご用意しています。また、とさぼりファミリー

カーニバルでは、バザーや子ども向け体験コーナーなど、ご家族で一日楽しめる企画も盛りだくさん。ホームカミングデイ交流ブースとあわせて、ぜひカーニバル全体をお楽しみください。

とさぼりファミリーカーニバルの中で開催!

リーダーOB・OG・学校卒業生・職員OB・OGの
ホームカミングデイ交流の場!

懐かしい仲間との再会、新しい出会いを
楽しみながら、世代を超えてつながる交流の場です。
一般の方もお気軽にご参加いただけます。

ホームカミングデイは、今年だけで終わる企画ではなく、これから毎年続け、みんなで育てていきたいと願っている新しい取り組みです。「また来年も会いましょう。」そんな約束が自然に生まれ、世代を超えたつながりが未来へ続いていく場となれば、これほど嬉しいことはありません。

ユースボランティアリーダーOB・OG、YMCAの学校卒業生、職員OB・OGの皆さまはもちろん、地域の皆さまや初めてYMCAを訪れる方も大歓迎です。

11月3日(火・祝)、大阪YMCA会館(土佐堀館)でお待ちしています。

Welcome Home!
そして、You Must Come Again (YMCA) !

大阪YMCA アンバサダー





カタ・ラッテ



このコーナーは、Yボランティア(会員)・賛助会員のみなさまの思いを綴るコラムコーナーです。

いつも「ごきげんでいる」を選ぶ

表題を見て「どういう意味?」と思われた方がおられるかもしれませんが、しばらくお付き合いください。私は今、アンバサダーと会員制度改革委員、学校法人大阪YMCA評議員、サポートクラスのぞみボランティアでお世話になっています。と書くと「昔めっちゃやってた人」と思われるかもしれませんが、実は大阪YMCAとの関わりは、予備校アペノ校旧館最後の本科生であった期間と、南YMCAの野外活動(大阪城野外)のコースボランティアリーダーを務めた約1年の計2年弱のみ。それが40代半ばにフラッと(!?)大阪YMCA会館(土佐堀館)に一步足を踏み入れたことから今に至っています。それはさておき、「いつもごきげんでいるを選ぶ」とは?人間には喜怒哀楽の感情があります。その中でも「怒り」の感情は強くしつこく、周囲に伝染します。だから不機嫌な人が一人いると居心地が悪くなります。反対に無理にでもニコニコしていると楽しくなってきます。人は自分の感情を表に出すかどうかを自分が選んでいます。なので自分がごきげんでいるを選び、そうしているだけで周りの人たちをごきげん



にして、居ていい場所を与えることができる。そう、皆さんお一人お一人が「ごきげんでいる」だけで誰かの役に立つことができるのです。本紙をお読みの皆さん、自分の機嫌は自分でコントロールして「ごきげん」を選び、周りの人たちに「笑顔」と「居ていい場所」を一緒に与えていきませんか?

学校法人大阪YMCA 評議員、大阪YMCA会員制度改革委員会 委員
キャリアコンサルタント(CDA) アンガーコントロールスペシャリスト

まえだ たかし
前田 貴史

インフォメーション

第24回とさぼりファミリーカーニバル

日 時: 2026年11月3日(火・祝) 11:00~15:00

場 所: 大阪YMCA会館(大阪市西区土佐堀1-5-6)

入場料: 大人200円、学生(中・高・大学生、専門学校生等)100円
小学生以下無料

テーマ:「あつまる。つながる。カーニバル! 2026!」

【お問い合わせ】

とさぼりファミリーカーニバル実行委員会

(学校法人大阪YMCA法人本部内)

TEL: 06-6441-0892

E-mail: gakkohonbu@osakaymca.org

早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAのさまざまな場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。

第390回

日時: 2026年10月16日(金) 7:30~8:30

証し: 仲原 成岳さん(大阪YMCAスタッフ)

場所: 大阪YMCA会館 10階 チャペル(大阪市西区土佐堀1-5-6)

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。

【お問い合わせ】

大阪YMCA 本部事務局

TEL: 06-6441-0894

E-mail: info@osakaymca.org

大阪YMCA大会2026

<つながる想い、ひろがる幸せ>

日時: 2026年11月23日(月・祝) 13:30~16:00(予定)

場所: 大阪YMCA会館 2階ホール(大阪市西区土佐堀1-5-6)

大阪YMCA大会は、大阪YMCAのYボランティア(会員)や大阪YMCAに関わる全ての方が一堂に集い、ワンチームとしてつながる日です。「みんなでつくる大阪YMCA大会」をめざして、集う人たちの出会いと交わりを深められる時間となるように準備を進めています。一人ひとりの想いや小さな幸せがつながって、大きくひろがっていく機会となるよう願っています!ぜひ皆さまの参加をお待ちしております。

参加申込方法やプログラム詳細については、随時大阪YMCAホームページやSNSにてお知らせします。

【プログラム予定】

- ・永年継続会員表彰・特別感謝などの表彰式
- ・さまざまなカタチの大阪YMCA活動紹介 ~私たちの「好き」や「共通点」から始まる「安心できる居場所づくり」をめざして~
- ・参加者交流ミッションゲーム
- ・カフェスペースやパフォーマンスも予定しています!

【お問い合わせ】

大阪YMCA大会事務局

TEL: 06-6441-0894

E-mail: info@osakaymca.org



2026年 熊本地震 救援・復興支援へのご寄付の報告と感謝

大阪YMCAの賛助会社である株式会社テツタニ様より、YMCAが行う2026年熊本地震救援・復興支援に多額のご寄付をいただきました。頂戴いたしましたご寄付は、熊本YMCAが行う避難所運営や被災地支援活動のために用させていただきます。ご協力に心より感謝申し上げます。



右から
株式会社テツタニの取締役会長 鉄谷明さんと
大阪YMCA総主事 小川健一郎

ユースリーダー安全支援金へのご協力に 感謝申し上げます。

(2026年8月度報告・敬称略)

秋山 健二	尾北 昇	杉浦 真喜子	中島 章浩	水越 郁代
浅野 美佐子	小椋 舞香	杉山 聡子	中元 直美	峰村 加代子
麻生 世利子	小田 展子	高木 紀代子	並木 聡子	美濃出 咲子
石川 慶子	小淵 直一	高橋 淳子	奈良 有希子	宮崎 登紀子
石橋 基文	貝 容子	高橋 由紀子	新山 真由美	宮本 ルミ子
猪之間 冨香	片山 忍	武井 和子	西川 優子	森 哲史
岩城 由香里	木崎 浩之	竹中 豊明	丹羽 朗	森田 麻生
岩本 順子	木村 好祐美	竹安 佳余子	則兼 千世	矢島 律子
上田 水恵	久保 美和	田中 章代	浜口 真理	保田 圭子
上村 五月	久米 栄子	塚口 景子	浜野 昌保	山地 弘伸
鶴川 まり子	小久保 裕子	塚本 恵加	弘田 優子	山本 久美子
大石 和秀	酒井 俊紀	辻井 豊昭	山本 尚美	山本 雅司
大川 寧々	坂之上 宗	津田 晃男	福田 百合子	湯浅 禎也
大阪サウス	坂之上 範子	土居 いずみ	藤井 三津子	横田 憲子
ワイズメンズクラブ	坂本 安世	土岐 朱美	藤井 弥生	横山 伊津子
大阪土佐堀	世島 智恵美	時 岳史	藤原 礼	吉田 陽香
ワイズメンズクラブ	佐藤 直子	刀禰 仁美	藤原 裕美	吉田 由美
大澤 美奈子	下坊 武雄	鳥居 翠	何 早林	和田 榮理
大島 喜子	島田 悦子	永井 章子	細野 智紗	匿名希望
大塚 由美	清水 諭	中井 則子	益田 陽子	
小川 久美子	下村 崇史	中井 基子	松本 祐香史	

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

(2026年8月度報告・敬称略)

【新規会員】

田中 義信
宮田 悠佑

【継続会員】

榎本 高廣
工藤 義正
竹野 寛美
前橋 由衣

横田 憲子

吉村 周平

【継続賛助会員】

株式会社扇谷
株式会社テツタニ
阪急電鉄株式会社
リコージャパン株式会社

大阪YMCA
ホームページ



ボランティア
スクエア



大阪YMCA
ゼロハックムービー

